

「認知症 声をかけ みんなで支え合う 笑顔のまち」

田富地区小地域ケア会議では
田富地区でも認知症の人が
増えていることを学び
認知症について、正しい理解を
広めていこうと活動しています。
一緒に声をかけ支え合う認知症に
やさしいまちをつくりましょう。



認知症の人の気持ち

認知症になると何もわからないは、
間違いです。

不安、悲しみ、自信喪失、恐怖、焦り
“感情”は残ります。

本人だけでなく、
家族だって
不安や焦りを抱えています。
大切なのは、

地域で支えること。
地域がつながること。

まずはできることから・・・



話すときに 気をつけたいポイント



- ❁ 後ろから話しかけずに
本人の視界に入ったところで話す
- ❁ 失敗を責めたり、プライドを傷つける
ような発言は避ける
- ❁ 要点は短く伝える



ご相談ください

認知症に関する相談を随時受け付けています
中央市地域包括支援センター
電話 055-274-8558

田富地区小地域ケア会議は、医師、歯科医師、
民生委員、ボランティア団体、ことぶきクラブ
などの住民で構成される会です。



いきいきフェスタin中央市 認知症 啓発活動



Eスポーツイベントで物忘れ簡易チェックをして、認知症の周知活動をしたよ!



SOS 模擬搜索訓練



認知症の人が行方不明になってしまった時の探し方や声かけの仕方を学んだよ!

アルツハイマー月間 周知活動



市内3つの図書館、長寿推進課前に認知症を知ってもらおうブースを作ったよ!

田富、玉穂、豊富小地域ケア会議メンバーで、中央市をもっと良くするにはどうしたらよいか?を話し合ったよ!



中央市小地域ケア会議 3地区合同研修会



ちょこっとコラム

田富地区小地域ケア会議で考える、「認知症」

2040年には、認知症や軽度認知障害の方が1,200万人に達し、高齢者の約3人に1人がその影響を受けると予想されています。つまり誰もが認知症の当事者や家族となりうる中、認知症についての正しい知識や情報が不足すると、対応の仕方が分からずトラブルとなることがあります。そのため、早めに相談先を知っておくことがとても重要です。まずは地域包括支援センターやかかりつけ医など、信頼できる専門機関をもつ

ことをお勧めします。

また認知症の方への対応は、家族だけでなく地域の皆様の理解や協力が欠かせません。住民全体で正しい知識を持つことで、認知症になった人も安心して暮らせる環境を作ることができます。みんなで支え合い、安定した暮らしを続けられる社会を目指していきましょう。田富地区小地域ケア会議では、キャラバン隊として、今後も普及啓発に努めていきます。

田富地区小地域ケア会議発行